

HAPSとは?

この困難な時代に生きる芸術家たちを支えること。それは、「美術」という一つのジャンルを守るのではなく、私たちの社会全体の豊かさを維持し、さらに新しい可能性を開いていくことに繋がります。HAPSは、個人の生き方と社会のあり方を組み替え、文化芸術が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を京都市に作り出すことを、その目標としています。

創設の経緯

京都市は、「京都文化芸術都市創生条例」に基づき、施策を総合的かつ計画的に実施するために策定した「京都文化芸術都市創生計画」(2007年3月)において、「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」事業を計画しました。2009年4月から調査を開始し、事業のプランニングに着手。2011年9月、上記事業を主として実施する組織として「東山 アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会」が設立されました。HAPS(ハップス)は、その略称です。

ミッション

芸術家支援

京都在住の芸術家たちの居住・制作・発表を包括的に支援する

地域創造

芸術家たちの創造性を京都市の活力へと繋ぐ

ネットワーク形成

国内外の芸術機関と多様な協力体制を構築する

イノベーション活動

新たな芸術のあり方と、新たな社会のあり方を共に探求する

相談窓口

HAPSの事業は、アーティストと支える人からの「相談」があっはじめて成り立ちます。相談を受けて、解決の糸口をさぐるために、HAPSのネットワークを駆使し、様々な支援プログラムを実施していきます。

アーティストの相談窓口

住む

アーティストの居住および制作のための不動産のマッチング。家主、不動産業者、各町内会、京都市担当部署などと連携しながら物件を紹介します。さまざまな条件をきめ細かく把握した上で、アーティストにとって最も必要とされる最適な物件探しのサポートを行います。

つくる

アーティストの作品制作をサポートするコーディネーション。制作に必要な資材、道具、技術、人員などの相談を受け、サポートを行います。他、公募やレジデンスなどの情報も提供しています。

みせる

展覧会などプレゼンテーションを効果的にする方法の提案。会場選定・構成、広報、イベントの実施などの相談を受け、サポートを行います。京都のレンタルスペースの情報なども提供しています。

支える人の相談窓口

住んでもらう

貸主、不動産業者などへのアーティストの紹介。アーティストに物件を提供して下さる方を広く求めています。貸し主に対しては、アーティストが借主になることのさまざまなメリットを説明する機会を設けています。また、内装や改装が必要な場合、貸し主の負担を減らし、同時にアーティストが使いやすくなるよう仲介・調整を行います。

つくってもらう

アーティストへの発注の仲介。アーティストに対して作品制作を依頼する方、作品でなくとも仕事として依頼したいことがある方を広く求めています。HAPSが有するアーティスト資料を活用し、最適なアーティストを紹介し、場合によっては制作のコーディネートまで行います。

みる

多くの方に、現在活動している芸術家の作品を知ってもらう普及活動。展覧会をめぐる鑑賞ワークショップやアーティストのスタジオを訪ねるツアーなどを企画しています。またホームページ上では京都で開催されている展覧会を網羅的に紹介しています。

WEB

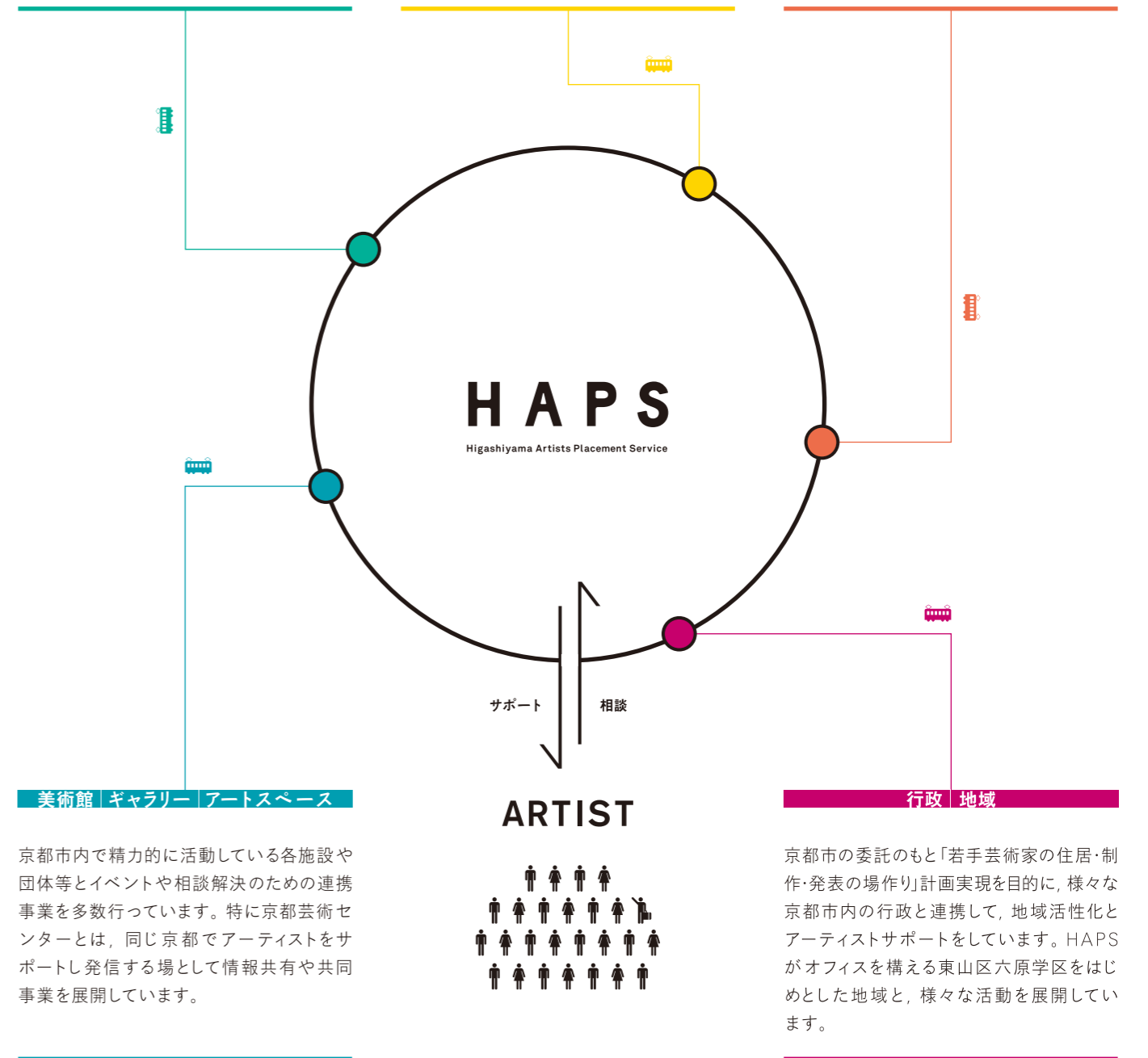
HAPSウェブサイトでは、相談窓口「HAPS STATION」のほか、さまざまな情報を提供しています。京都の展覧会情報を網羅した「Art Picks」、レビューやコラム、インタビューなどの読み物で構成された「HAPS Press」などウェブ媒体独自のコンテンツが掲載されています。

HAPS オフィス

HAPSのオフィスは東山区六原にあります。近くには建仁寺や六波羅蜜寺などがあり、市中心部に位置しながら落ち着いた風情あるエリアです。町家を改装したオフィスはさまざまな機能をコンパクトに備えています。オフィスであると同時に、アーティストと彼らを支える人が出会い、交流が生まれる場所として、さまざまなプログラムを実施しています。

大学

京都市内の4つの芸術大学と連携・共同して、卒業後の「道」の選択肢が少しでも広まるよう、出張授業や、共同でトークショーの開催などを行っています。





オフィス外観。間口三軒で奥に長いうなぎ寝床のある典型的な京町家。正面のスペースは小さなギャラリースペースとして活用していく予定

Communication Space

集会スペース
イベントなどを通して多様な人々の交流の場となります。

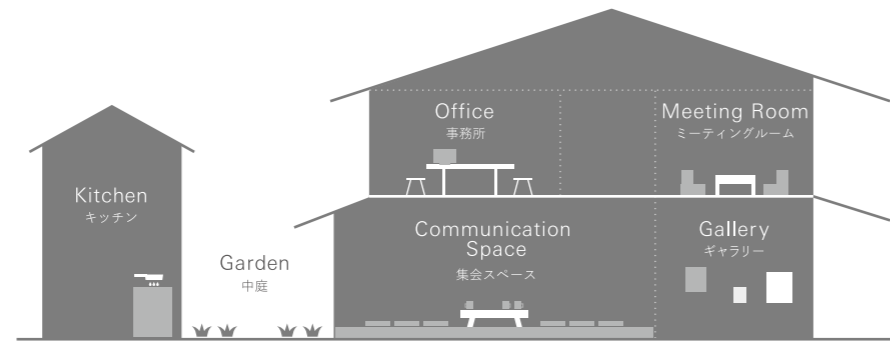
Gallery

ギャラリー
さまざまなプレゼンテーションに利用できます。

Meeting Room

ミーティングルーム
アーティストや支える人の相談に対応します。

オフィス内部



京都の技術伝授ワークショップ

長年空き家となっていた京町家を会場として、京都ならではの伝統技法(床張りや三和土の土間づくりなど)を織り交ぜながら、専門家による実演の元、ワークショップや講演会を行った。アーティスト自身が、空き家を活用する際に必要な技術を習得するための練習をし、新たな制作のアイデアを得られるプログラム設計となった。参加者にはアーティストだけではなく、一般の会社員の方、芸術や建築に興味を持つ大学生等、幅広い分野の方々が遠方からも集まり、世代やジャンルを超えた交流の場にもなった。今後はこの取組を活かし、アーティストが住まうことによる空き家の解消をはじめ、文化芸術による地域のまちづくりを目指す。



京町屋大工の棟梁・山本茂さんと3日間かけて床づくり。作業をしながら町家の構造の奥深さを学んだ。



たたきにこだわりを持つ左官職人・萩野さんに教わる様子



ワークショップは朝の朝礼から始まる



布海苔を溶かして糊状にし、土壁に和紙を貼って仕上げる



初心者も丸ノコ使いの名手に



毎回10名前後の参加者が集った



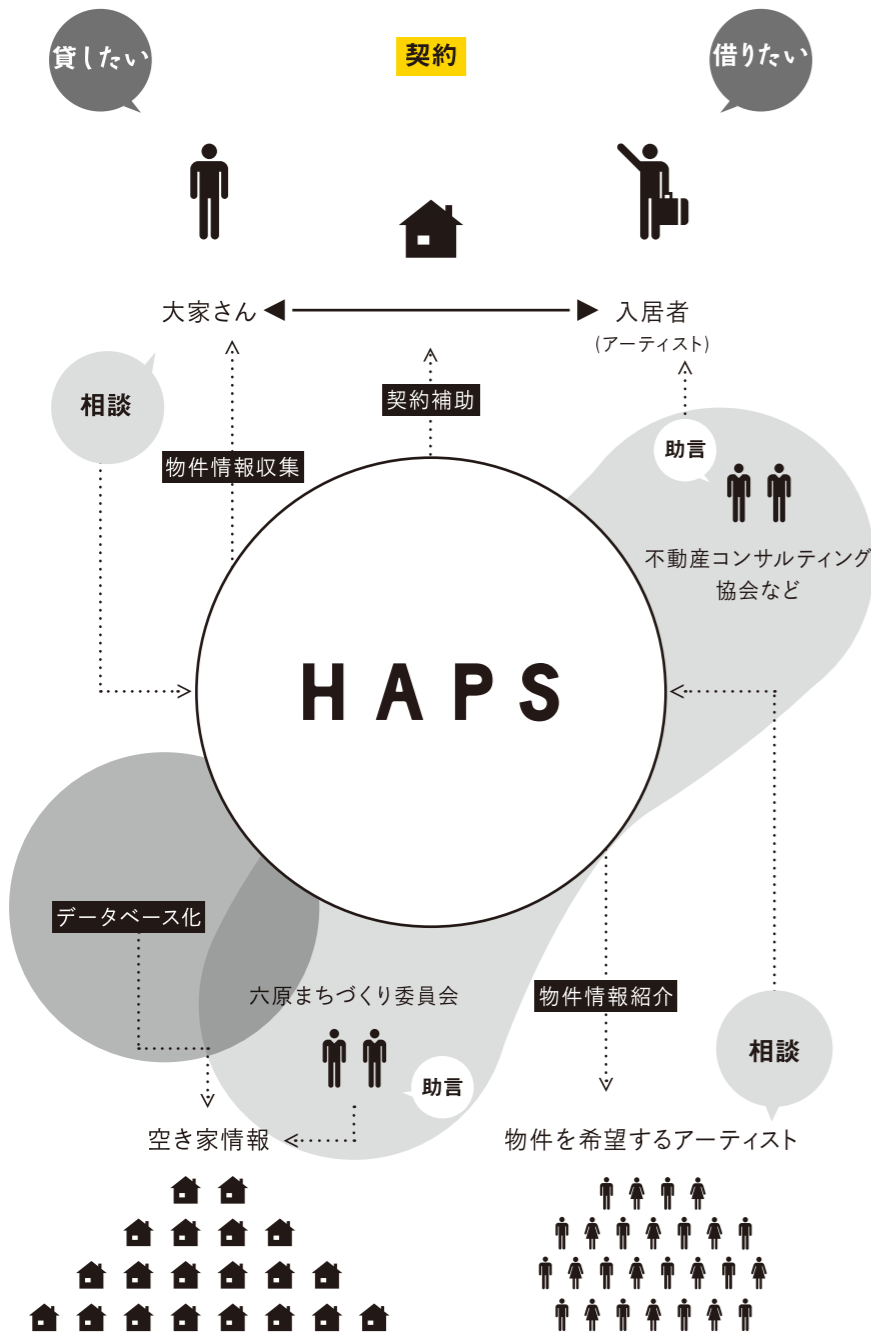
一つの作業につき、どれだけの人数と時間が必要なのかを「トレーサブルペーパー(ワークシート)」としてまとめてレシビ化していく



空き家マッチング

アトリエや住まいを探しているアーティストに物件を紹介。アーティストと大家さんの双方の要望に合致するように紹介。
また、HAPSでも実際に地域に赴き、空き家に足を運び調査と発掘をすることで、地域とのつながりも生まれてきている。

物件の紹介から契約のながれ



六原まちづくり委員会への参加

東山区六原地区は地元有志が中心になって、空き家問題や高齢化等の問題に取り組んでいる。更に、京都市都市計画局住宅政策課や京都女子大、京都府不動産コンサルティング協会、京都府建築士会青年部、京都市景観・まちづくりセンター等がサポートメンバーとなり2011年より委員会を発足。六原地区では5件に1件の空き家があると本委員会の調査の結果わかっている。地元住人の意識を変えるべく、相続問題や家の手入れ方法等に関するセミナーを定期的開催。京都市の中でも空き家対策重点地域のモデルケースとして選定された。



本委員会の事務局長兼HAPS実行委員の菅谷幸弘氏。

ハッピーはっぶすの発行

京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科の一回生に記者・編集者となってもらい、六原学区の住民の方たちに向けてHAPSを知ってもらうための新聞を回覧板として毎月刊行。関西近郊のアーティストの活動で盛り上がる地域もコラムとして取り上げた。



HAPSのアンケート結果によると、約53%の方が読んでくれた。

HAPS制作スタジオ

第一期(2012年12月から使用開始)

鏡世界社(松見拓也, NAZE)



ともに京都精華大学デザイン学部卒業。松見拓也が写真やグラフィックデザインを、NAZEがドローイングや立体作品を主に扱う。両者は2010年よりパフォーマンスユニットcontact Gonzoにも加入している。廃材を収集し、それらを立体作品の制作やパフォーマンスに使用する。不要と見られる廃材に新たな価値を付加し、鑑賞者自身もイベントに参加することで、全員が発見が生まれ、楽しむことができる場を作る。旧来の絵や彫刻ではなく、音楽や料理・パーティ・パフォーマンスを通して広がりのあるイベントを、多様な人たちが参加できる企画をしている。また燻製処として各イベントやお祝いに自家燻製料理の提供もしている。

第二期(2013年4月から使用開始)

榎本耕一

1977年大阪府出身。大阪府寝屋川市在住(今年より京都に移転)。金沢市立美術工芸大学、修士課程中退。これまでの主な個展に、「surrogate picture」(ヒロミヨシイ/東京、2007)、「ふだらとつかい the captain of the ship」(タロウナス/東京、2011)等。絵画をより面白くするにはどうすればいいかを日頃から模索し、豊かな想像力と描写で細部まで見事に描かれる作品が特徴的。

2011年に閉校した元新道小学校の6教室をアーティストのスタジオとして活用

人の参加を呼び込み、状況や環境に介入し変化を促すアーティストが選出された。

毛原大樹



東京芸術大学大学院美術研究科修了。2005年のFMヨコトリ(大塚淳/上屋番)への参加をきっかけに、「自由ラジオ」や「ラジオ・アート」等の電波メディアに興味を持つ。廃校となった小学校(東京台東区)の教室をスタジオとして、自由ラジオ局「コジマラジオ」をスタートさせた。以降、様々な人々が関係する現場として「町中アート大学」やコジマラジオのテレビ版「最後のテレビ」へと発展していく。現在では、全国のありとあらゆるシーンで微弱な電波を使った文化的な活動を行ったり、商店街振興策などさまざまな話題を打ち出している。一見すると前時代的な道具を新しいメディアとして捉える制作活動も行う。

吉野正哲



詩の制作、映像作品の他、会議を企画し多様な人々が集まり話し合う場を作品としていく。これまで吉野氏が提供してきた会議室では、誰もが社会で背負っている身分や肩書をなくし、肩の荷を下ろして発言できる場が提供されてきた。今後は制作室を拠点として音楽家、主婦、学生、画家、建築家、専門家など多彩なジャンルの人を集めて表現できる教室のような場を作る予定。

絵画・彫刻などの物質性を介し、見えるものと見えないものを丁寧に描き出すアーティストが選出された。

Hyon Gyon

1979年韓国出身、京都市在住。韓国MokWon大学で西洋画を学んだ後、2011年京都市立芸術大学大学院博士課程修了。卒業後も、京都で制作を続けている。2007年にトーキョーワンダーウォール賞、2008年には、京都市立芸術大学修了作品展大学院市長賞を受賞。2012年度京都市芸術文化特別奨励者。心の中の影という負の世界を、作品制作を通じて笑いに昇華させるのが持ち味。

村田宗一郎

1985年奈良県出身。京都市在住。東京芸術大学美術学部先端芸術表現科中退。2009年に京都に居を移し、「ANTEROOM PROJECT」(ホテルアンテルーム京都、2012年)の他、東京、フランス、南アフリカ等で作品を発表し、国内外で活躍中。「構築」をキーワードに絵画、彫刻、インスタレーションなど枠にとらわれない自由な作風。

キュレーター招聘

京都で制作するアーティストを紹介するために、国内外より第一線で活躍するキュレーターを招聘

片岡真実氏 (森美術館 チーフキュレーター)

滞在日程 | 2013年2月24日(日) - 26日(火)

ポर्टフォリオセッション

自分の作品について約10分に集約して伝えていく難易度の高いプレゼンテーションだった。質問も多く飛び、約5時間に及ぶ熱い時間に。

開催日 | 2013年2月24日(日)

会場 | HAPSスタジオ

企画 | 加納俊輔, 松延総司

参加アーティスト | 飯川雄大, 伊藤彩, 上原徹, 加納俊輔, 苅谷昌江, 高橋耕平, 田中真吾, 花岡伸宏, 中村裕太, 松延総司, 水木壘, 芳木麻里絵

スタジオビジット

市内のスタジオを巡り22組のアーティストのスタジオを訪問。



岩崎仁美氏 (Queens Museum of Art キュレーター)

滞在日程 | 2013年3月26日(火) - 28日(木)

「Social What again? — どんな[Social]を誰が担うの? その為のベースはどこにあるの?」

現在の「ソーシャル」を巡る活動の流行とその制度化に対する警鐘を鳴らすべく、その課題と可能性についてディスカッション。

開催日 | 2013年3月27日(水)

会場 | Social Kitchen

協力 | Picasom

ゲスト | 岩崎仁美, 須川咲子(Social Kitchen)

スタジオビジット

市内のスタジオを巡り17組のアーティストのスタジオを訪問。



連携事業

Sunday Brunch

共同主催企画 | Social Kitchen

開催日 | 2013年2月24日(日)

芸術、文化、社会運動に関する小規模プロジェクトを食事会を通して金銭的にサポートするためのプロジェクト。第一回目に参加した6組のアイデアに場内は大いに沸いた。Social Kitchenのシェフによる今回のご飯は植木鉢型の器に入ったクスクスごはん。空いた鉢は各人持ち帰っていただき、付属の種を埋めて育ててもらうというコンセプト。

サポートの人 |

28名 (集まった資金の合計額 56,000円)

アイデアを出した人 |

1位 O-NIKU Stationさん 獲得金額39,200円

2位 山田愛さん 獲得金額16,800円

アーティストスタジオビジットツアー

協力 | NPO法人Antenna Media, アート京都2012

開催日 | 2012年4月27日(金), 28日(土), 29日(日)

Antenna Mediaからの相談で「アート京都2012」と同時開催されていた「オープンスタジオ2012」により多くの方に足を運んでいただくべく、両間をつなぐバスツアーを開催。遠方から来る方をターゲットに、アーティストのスタジオだけでなく、ギャラリー等、京都の主なアートのスポットも巡った。結果、参加者の9割が京都市外からの参加となった。

東山町家めぐり&街歩き

開催日 | 2012年5月2日(水) 企画 | FOIL

会場 | 禅居庵ほか



地元に住む菅谷幸弘さんと町家を巡りながら、現在の空き家問題について話していただいた。禅居庵では和菓子が振る舞われた。

京都市内で活動するアーティストや、その環境をサポートする方たちと共催で事業を行う



エイリアン・ファベル氏出版記念トーク

開催日 | 2012年6月26日(火) 会場・協力 | MEDIASHOP



90年代後半の「スーパーフラット」以降の日本の現代美術について著書『Before and After Superflae』の内容を中心に話していただいた。

オリバー・ヘリソング氏トーク

開催日 | 2012年9月16日(日) 会場 | Social Kitchen

協力 | 京都市立芸術大学, 京都芸術センター



京都市立芸術大学のアーティストレジデンス・プログラムに参加していたオリバーさんと作家ならではの悩みや、関心事をうかがった。



レクチャー

HAPSと考える展覧会鑑賞術 1, 2

第一回目(写真左)

開催日 | 2012年9月22日(土), 23日(日)
会場 | 22日 imura art gallery, ギャラリー恵風, MORI YU GALLERY
23日 ギャラリーヒルゲート, 同時代ギャラリー, Gallery PARC
企画 | アンテナメディア, 京都藝術2012
2日間で計6箇所のギャラリーをHAPS遠藤水城と巡り, 当ウェブサイト内の「みる」のコンテンツに参加者のテキストを掲載。

第二回目(写真右)

開催日 | 2013年3月9日(土) 会場 | @KCUA
「もののやりかた」展の関連イベントで鑑賞術の第二弾を開催。

アーティスト等へのインタビュー, アーカイブを掲載し, 芸術と社会の関係を考察していくウェブマガジン



アーティストのための確定申告講座

開催日 | 2012年2月16日(土)
講師 | 大川聡 (税理士法人平尾 & パートナース 税理士)



アートプロジェクトを行う兄弟がいる税理士の大川さんをお招きし, アーティストのお金にまつわる悩みに答えていただいた。

アーティストのための英語講座1

【人に作品の説明をする】

開催日 | 2013年3月1日(金), 15日(金)
講師 | ローレン・ハドラー



海外でのアートマネジメントの経験を持つローレンさんから, アーティストが自分の作品を英語で伝えるための適切な単語や相応しい文法について教えていただいた。

町家講座「京町家大工の棟梁から学ぶ 京町家の魅力と見どころ」

開催日 | 2013年3月16日(土) 講師 | 山本茂 (大工棟梁)



京都の技術伝授ワークショップでもお馴染みの京町家大工・山本さんに京町家についての基礎知識とその魅力をじっくり伝えていただいた。

大学との連携

小山田徹氏×遠藤水城氏
【インディペンデントの生き方】トーク

開催日 | 2012年6月24日(日)
共催 | 京都市立芸術大学, キャリアアップセンター

大学のキャリアアップセンターとの共同企画。卒業を控える学生たちに企業や既存の団体への所属ではない生き方を提示。

京都精華大学・作田知樹講師の授業や京都嵯峨芸術大学のトークシリーズ「基礎カフェ」等でHAPSの紹介を行った。

左・京都市立芸術大学でのトークの様子
右・京都精華大学での授業の様子



OUR SHOOOL プレイベント

プレイベント「学校説明会(編)」

開催日 | 2013年3月24日(日)
会場 | HAPSオフィス
講師 |
アサダワタル (日常編集家)
伊藤洋志 (ナリワイ実践家 / 全国床張り協会会長など)
小山田徹 (美術家)
春山文枝 (カフェ「かぜのね」共同経営者)

HAPSでは, 誰もが生徒にも先生にもなれ, 知識や経験, 技術を共有していく開放された学校を目指しあらゆる人に開かれた学校「OUR SCHOOL」を次年度より展開する。当プレイベントでは, スクール・アドバイザーの4名に6月からのスクール事業で学びたいこと, 授業したいことについて語り合ってもらった。

みんなで学ぶ, 教える, 共有する — 開校準備



ワークショップ

花降る里けいほくバスプロジェクト

開催日 | 2012年11月3日(土), 4日(日)(ワークショップ開催は3日)
共催 | 「花降る里けいほく」プロジェクト実行委員会
共催 | 財団法人きょうと京北ふるさと公社,
東山アーティスト・プレイメント・サービス (HAPS)

財団法人きょうと京北ふるさと公社からの相談により実現した, 京北地域を走るコミュニティ・バスにアーティストがペインティングをするプロジェクト。公募の末, アーティストユニット「Quzmo」のプランが採択されました。「けいほくふるさとまつり」内で地元の子供たちとQuzmoとのコラボレーションによるワークショップも開催。京北地域のシンボルとなるようなバスが完成した。

アーティストの活動を紹介し, 地域の方との連携や交流を深めていく



毛原大樹氏

【アナログメディアイノベーション ワークショップ】

開催日 | 2013年3月17日(日) 会場 | HAPSオフィス
講師 | 毛原大樹 (アーティスト)



スタジオ内で自分たちのラジオ番組を放送体験。

hyslom ワークショップ「新しい塗装の方法を考える」

開催日 | 2013年2月9日(土) 会場 | HAPSオフィス
講師 | hyslom (アーティスト)



hyslomならではのルールのもとに塗装を進めていく。



庭の整備のために、「穴相撲」を行い土を掘っていった。



WEB

HAPS STATION

つくるひと、支えるひと、みるひとが集う相談窓口

アーティスト向けに「住む」、「つくる」、「みせる」、また支える人向けに「住んでもらう」、「つくってもらう」、「みる」の6つの相談窓口を開設。それぞれに情報サイト等コンテンツも充実させた。

アーティスト紹介

住まいの紹介 || 寺島みどりさん・彦坂敏昭さん スタジオ紹介 || アトリエ124・センナカスタジオ・GURA

アーティストに向けて、公募や物件等の情報紹介

アーティストインレジデンスや公募、助成金等の情報 || 海外のレジデンス情報の中から選りすぐりのものを紹介し、注目を集めた。
物件の紹介 | 展示スペース紹介 | スタジオ空室情報の紹介 | 不動産業者の紹介



ART Picks

京都市内の展覧会、イベントを年間約1000件掲載。現代美術に限らず、オルタナティブな動きも含め更新し、幅広いジャンルの展覧会・イベントを紹介している。また、国内外を問わず閲覧できるように日英バイリンガル表記であることも大きな特徴。



HAPS Press

芸術と社会の関係を実験的に考察していくためのウェブマガジン

展覧会レビュー

京都で活躍する気鋭の批評家のレビューから一般の応募の中から選ばれたレビューまで、幅広く掲載。

ベージングインカムと表現

「生活する上で最低限必要である社会が合意する額を、国民に一律に無条件で給付する」制度の基礎知識と意義を経済学者山森亮さんにお聞きした。

芸術判例集

Arts and Lawによる監修のもと、戦後以降の日本国内の芸術にまつわる判例集25選をまとめた。

やなぎみわ氏インタビュー

「ホワイトキューブ以後 / 震災以後」をテーマに、新作『PANORAMAーおパノラマー』を上演した直後に演劇論を含めインタビュー。
聞き手 | 尾崎信一郎 (鳥取県立博物館副館長)

[S/N]と90年代京都

京都を中心に世界的に活動したパフォーマンスグループDumb Type「Life with ARTー受けとめ、そして、渡す人ー」展(2010年、京都精華大学ギャラリーフール)のアーカイブを掲載。

今後の展開

アウトサイダーアートをめぐる言説を問い直す
述語集やアーティスト「hyslom」による
アーカイブページ等を公開。

VOICE

田中和人さん (アーティスト)



左から2番目が田中さん

何でも相談できる場所は、普通はなかなか無いので貴重だと思います。難しい問題でも一緒に考えてくれるところがとてもよかったです。現場をよく知っている人が相談に乗ってくれるので、言葉に説得力があり、それをもとに更に自分で考えることができています。

彦坂敏昭さん (アーティスト)



もしHAPS経由で住むのではなかったら、地域に溶け込むことがもっと難しかったのではないかと感じています。一番最初の一番大変な段階からサポートしてもらえているので、スムーズにこの地域に住み始めることができました。

石川絵理さん (小山登美夫ギャラリー)



これまで見やすく展覧会情報をまとめたウェブサイトが無かったのでとても役立っています。ギャラリーには遠方から来られるお客様も多く、京都のおススメの展覧会をよく聞かれるのですが、そこでこのウェブサイトは利用させていただきます。

HAPSに関わった人たちの声

川勝真一さん (RAD)



京都で活動していると海外のメディアから注目されることがありませんが、HAPSの紹介でイスタンブール人の研究者の方から取材してもらうことができました。取材内容は、国際的な建築雑誌である「Domus」のウェブサイトに掲載していただけるようです。東京ならそうした機会もたくさんあるのですが、今回は、東京以外の都市だからこそできる活動を調査されていたみだったので、自分たちの活動を評価してもらえて非常によかったです。そういう研究者の方と繋げてもらえるのは、とてもありがたいと感じました。

加納俊輔さん



左が加納俊輔さん、同行していたPeter Hajliさんのスイスのスタジオにて

ジョバンニさんにスタジオビジットに来ていただいた際、同行されていたアーティストのピーター氏に、私の作品を気に入って購入していただきました。海外へ作品を配送した経験がなかったためHAPSに相談したところ、そこも一つのプレゼンテーションとして考えろとアドバイスを頂き、そこで作品を持って実際にスイスに届けに行ってみました。直接作品を運び会いに行ったことを喜んでくださり、彼のスタジオでお互いの作品の話をしたり、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。またそこで新作を購入していただいたりと、とても実りの多い旅になりました。その後もよいお付き合いが続いています。

山田麗音さん (デザイナー)



HAPS掲載のインタビューをいろんな人が見てくれて、たくさんのお返事をもらってびっくりしています。一番良かったのは、ある賞の審査員の方がインタビューを見たことをきっかけに、スタジオに訪訪していただき、メンバーの一人を賞に推薦してくれたことでした。京都にはアーティストをサポートしてくれる組織があまりなかったので、そういう受けが高まっていたところにHAPSがスタートしてタイミングがよかったのではないのでしょうか。また、HAPSのプロモーションの仕方等も、HAPSに関わってみないと若手アーティストに思わせる感じがあるとあります。

中本真生さん (UNGLOBAL STUDIO KYOTO)



路地奥で静かな物件なので、制作に集中できます。アクセスがしやすく繁華街にも近いので、交通面でも助かっています。HAPSの方の対応もとてもよくて、理想的な物件を紹介してもらえてよかったです。今後、HAPSのサポートを通じて東山にクリエイティブな人が増えて活性化することを期待しています。

市村恵介さん (KYOTO OPEN STUDIO 2012主催メンバー)



自分たちでは同時開催されていたアート京都2012との連携があまりできていなかったのですが、HAPSがバスツアーを開催してくれたことでアート京都2012に来ていた当日のお客様にも広報が行き届いたと思います。こちらで広報しきれていないお客さんを、それぞれ離れた場所にある各会場に連れて行ってくれたということはとてもありがたかったです。

奥中章人さん (アーティスト)



HAPSのホームページに掲載されている、国内外のアート系の公募情報をチェックしています。こういう風にリストとしてまとまっているところはあまりないので、アーティストの役に立つともよい取り組みだと思います。まだ結果は出ていないのですが、ドイツのレジデンス公募に実際に申し込みました。



活動リスト

タイトル	開催日	会場	ゲスト	主催
<div> <div>主催事業</div> <div>スタジオバスツアー1日目</div> </div>	2012/4/27	<div> <div>出発地 ホテルモントレ京都</div> <div>目的地 @KCUA, アトリエシア京都, 森林食堂, FOILギャラリー, アトリエ家一, Social Kitchen</div> <div>到着地 京都国際会館</div> </div>		<div> <div>協力 KYOTO OPEN STUDIO 2012, ART KYOTO 2012</div> </div>
<div> <div>スタジオバスツアー2日目</div> </div>	2012/4/28	<div> <div>出発地 京都国際会館</div> <div>目的地 VOICE GALLERY, 淀スタジオ, Studio90, SoM, 児玉画廊</div> <div>到着地 ホテルモントレ京都</div> </div>		<div> <div>協力 KYOTO OPEN STUDIO 2012, ART KYOTO 2012</div> </div>
<div> <div>スタジオバスツアー3日目</div> </div>	2012/4/29	<div> <div>出発地 京都国際会館</div> <div>目的地 蓮華荘, studio 陶巴担, 田中加織アトリエ, Taka Ishii Gallery, Koyama Tomio Gallery, Antenna Media, Mori Yu Gallery, Imura Art Gallery</div> <div>到着地 ホテルモントレ京都</div> </div>		<div> <div>協力 KYOTO OPEN STUDIO 2012, ART KYOTO 2012</div> </div>
<div> <div>「ハッピーはっぶず」vol.1刊行</div> </div>	2012/5/12			<div> <div>協力, 編集 京都造形芸術大学</div> <div>芸術表現・アートプロデュース学科</div> </div>
<div> <div>Adrian Favell氏『Before and After Superflat』出版記念トークイベント</div> <div>「ハッピーはっぶず」vol.2刊行</div> </div>	2012/6/26	MEDIA SHOP	エイドリアン・ファベル	<div> <div>協力 MEDIA SHOP</div> </div>
<div> <div>「ハッピーはっぶず」vol.3刊行</div> </div>	2012/7/12			<div> <div>協力, 編集 京都造形芸術大学</div> <div>芸術表現・アートプロデュース学科</div> </div>
<div> <div>京都の技術伝授ワークショップ</div> </div>	2012/7/15–2013/3/30	HAPS オフィス	<div> <div>詳細はP21を参照</div> </div>	<div> <div>監修 RAD</div> <div>協力, 編集 京都造形芸術大学</div> </div>
<div> <div>「ハッピーはっぶず」vol.4刊行</div> </div>	2012/9/10			<div> <div>芸術表現・アートプロデュース学科</div> </div>
<div> <div>やなぎみわ氏インタビュー 「ホワイトキューブ」以後 / 震災以後</div> </div>	2012/9/17	grid	やなぎみわ, 尾崎信一郎	<div> <div>協力 grid</div> </div>
<div> <div>京都藝術2012関連イベント</div> <div>「HAPSと考える展覧会鑑賞術」1日目</div> </div>	2012/9/22	[ギャラリーツアー] imura art gallery, ギャラリー恵風, MORI YU GALLERY [ディスカッション] cafe mement mori		<div> <div>協力 京都藝術2012</div> </div>
<div> <div>京都藝術2012関連イベント</div> <div>「HAPSと考える展覧会鑑賞術」2日目</div> </div>	012/9/23	[ギャラリーツアー] ギャラリーヘルゲート, 同時代ギャラリー, Gallery PARC [ディスカッション] ARTZONE		<div> <div>協力 京都藝術2012</div> </div>
<div> <div>東山区 六原フェスタ内企画「教えてカフェ」</div> </div>	2012/10/21	やすらぎ・ふれあい館 会議室	小山田徹	<div> <div>協力 京都市立芸術大学 小山田徹研究室</div> </div>
<div> <div>オリバー・ヘリング氏トークイベント</div> </div>	2012/11/10	Social Kitchen	オリバー・ヘリング	<div> <div>協力 京都市立芸術大学, 京都芸術センター</div> </div>
<div> <div>HAPSスタジオ第一弾利用スタート</div> </div>	2012/12/1	制作スタジオ	鏡世界社(松見拓也, NAZE), 毛原大樹, 吉野正哲	
<div> <div>「ハッピーはっぶず」vol.5刊行</div> </div>	2012/12/20			
<div> <div>Sunday Brunch</div> </div>	2013/1/21	Social Kitchen		<div> <div>共催 Social Kitchen</div> </div>
<div> <div>「新しい塗装の方法を考える」</div> </div>	2013/2/9	HAPS オフィス	hyslom	
<div> <div>確定申告講座(初級編)</div> </div>	2013/2/16	HAPS オフィス	大川聡	
<div> <div>キュレーター招聘 片岡真美氏(森美術館チーフ・キュレーター)</div> </div>	2013/2/24–26	HAPS制作スタジオなど 市内14カ所	片岡真美	
<div> <div>アーティストのための英語講座1</div> <div>「人に作品の説明をする」</div> </div>	2013/3/1	HAPS オフィス	ローレン・ハドラー	
<div> <div>もののやりかた展 関連イベント アーティスト向け</div> <div>「HAPSと考える展覧会鑑賞術 vol.2」</div> </div>	2013/3/9	@KCUA		<div> <div>協力 @KCUA</div> </div>
<div> <div>アーティストのための英語講座1</div> <div>「人に作品の説明をする」</div> </div>	2013/3/15	HAPS オフィス	ローレン・ハドラー	
<div> <div>町家講座「京町家大工の棟梁から学ぶ京町家の魅力と見どころ」</div> </div>	2013/3/16	HAPS オフィス	山本茂	
<div> <div>「アナログメディアイノベーション ワークショップ」</div> </div>	2013/3/17	HAPS オフィス, HAPSスタジオ	毛原大樹	
<div> <div>OUR SCHOOL プレイベント「学校説明会(鍋)」</div> </div>	2013/3/24	HAPS オフィス	アサダワタル, 伊藤洋志, 小山田徹, 春山文枝	
<div> <div>キュレーター招聘 岩崎宏美氏(クイーンズ美術館 エキシビションディレクター)</div> </div>	2013/3/26–28	HAPS制作スタジオなど 市内15カ所	岩崎宏美	
<div> <div>岩崎宏美氏、須川咲子氏トーク「Social what again?」</div> </div>	2013/3/27	Social Kitchen	岩崎宏美, 須川咲子	<div> <div>協力 Social Kitchen, Picasom</div> </div>



HAPS LINE
— 大学
— 行政
— 地域
— 美術館 | ギャラリー
— アートスペース
— HAPS オフィス
— WEB

タイトル	開催日	会場	ゲスト	主催
<div> <div>RAD×(株)八清 西村社長 トーク</div> <div>「みんなの町家改修」</div> </div>	2013/3/30	HAPS オフィス	RAD, 西村孝平(株式会社 八清)	
<div> <div>共催事業</div> <div>小山田徹氏×遠藤水城氏トークセッションー</div> <div>「インディペンデントの生き方」</div> </div>	2012/6/14	京都市立芸術大学	小山田徹, 遠藤水城	<div> <div>主催 京都市立芸術大学</div> <div>キャリアアップセンター</div> </div>
<div> <div>花降る里けいほくプロジェクト ワークショップ, 制作</div> </div>	2012/11/3, 4	京北ふるさとまつり会場内	Quzmo	<div> <div>主催 花降る里けいほくプロジェクト実行委員会</div> <div>共催 財団法人きょうと京北ふるさと公社</div> </div>
<div> <div>ポートフォリオセッション</div> </div>	2013/2/24	HAPS制作スタジオ	片岡真実 参加アーティスト 飯川雄大, 伊藤彩, 上原徹, 加納俊輔, 苅谷昌江, 高橋耕平, 田中真吾, 花岡伸宏, 中村裕太, 松延総司, 水木昱, 芳木麻里絵	<div> <div>企画 加納俊輔, 松延総司</div> </div>
<div> <div>協力事業</div> <div>KYOTO OPEN STUDIO 2012</div> </div>	2012/4/27–5/6	A,S,K アトリエシア京都, アトリエ家一, 森林食堂, Antenna Media, 田中加織アトリエ, studio 陶 巴担, 蓮華荘, SoM, studio90, 淀スタジオ		<div> <div>協力内容</div> <div>広報, 関連企画協力</div> </div>
<div> <div>東山町家めぐり9号歩き (ゲスト 菅谷幸弘氏)</div> </div>	2012/5/2	禅居庵, アトリエヴェーダほか	町歩き企画の協力	禅居庵×FOIL
<div> <div>淀川テクニック「はやくゴミになりたい」</div> </div>	2012/6/16–7/8	ART ZONE	広報協力	ART ZONE
<div> <div>京都藝術2012</div> </div>	2012/9/15–10/5	京都市内の美術館, ギャラリー等	広報, 関連企画協力	京都藝術実行委員会
<div> <div>アブストラと12人の芸術家</div> </div>	2012/11/11–12/16	大同倉庫	広報・運営協力	アブストラクト実行委員会
<div> <div>PARASITISM –寄生の美学–</div> </div>	2012/12/6–16	VOX SQUARE	広報, 運営協力	BACADESIGN
<div> <div>もののやりかた –東京現在進行形–</div> </div>	2013/2/23–3/10	@KCUA	連携企画協力	京都市立芸術大学
<div> <div>五条文化芸術ツアー</div> </div>	2013/3/20	宮川町歌舞練場, HAPSスタジオ, HAPS オフィス, Antenna Media, つくるビル	町歩き企画の協力	京都市

<div> <div>トーク等への参加</div> <div>作田知樹講師の授業でレクチャー</div> </div>	2012/6/23	京都精華大学		
<div> <div>日本のアーティスト・イン・レジデンスのネットワーク会議</div> </div>	2012/10/25	東京ウィメンズプラザ会議室(Room B)		
<div> <div>アーティストの制作環境を考える–日本の9事例とロンドンの非営利団体ACME(アクメ)</div> </div>	2012/12/1	アーツ千代田3331		
<div> <div>嵯峨芸術大学「基礎カフェ」でのレクチャー</div> </div>	2013/1/15	京都嵯峨芸術大学 FDカフェ		嵯峨芸術大学 造形基礎研究室
<div> <div>アサヒ・アート・フェスティバル2013 ネットワーク会議</div> </div>	2013/3/9, 10	アサヒ・アートスクエア		AAFネットワーク実行委員会

<div> <div>掲載記事</div> <div>CO-DIALOGUE「遠藤水城×アサダワタル氏」 雑誌</div> <div>HAPS(東山 アーティスツ・プレズメント・サービス)インタビュー 遠藤水城, 声きさやか(HAPS) WEB</div> </div>	2012/5/10	paper C	遠藤水城×アサダワタル氏インタビュー	一般社団法人 おおさか創造千鳥財団 事務局
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2012/6/12	AMeeT	HAPSの事業内容について	一般財団法人 ニッシャ印刷文化振興財団
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2012/9/5 夕刊	京都新聞	HAPSスタジオの第一期利用者募集のお知らせ	株式会社 京都新聞COM
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2012/9/15	メセナnote	HAPSの事業内容について	公益社団法人 企業メセナ協議会
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2012/9/25 朝刊	読売新聞	HAPSスタジオの第一期利用者募集のお知らせ	(株)読売新聞大阪本社
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2012/11/7	京都新聞	花降る里けいほく(プロジェクト)のバスワークショップについて	株式会社 京都新聞COM
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/1/1	地域づくり別冊「アートを活用したまちづくり」	HAPSの事業内容について	財団法人 地域活性化センター
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/1/6	産経新聞	京都のアーティストのスタジオの状況について	株式会社 産業経済新聞社
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/1/12	京都三条ラジオカフェ	HAPSのオフィス改装について	京都三条ラジオカフェ
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/1/19	京都新聞	Sunday Brunchについて	株式会社 京都新聞COM
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/1/19	KBS京都「京のまち」	HAPSスタジオの第二期利用者募集のお知らせ, 第一期アーティストのインタビュー等	株式会社京都放送
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/2/1	京都造形芸術大学 受験生用冊子	声立インタビュー	京都造形芸術大学
<div> <div>閉校空き教室 アトリエに 新聞</div> <div>アーティストの新しい表現が社会を変える 執筆:山田創平 雑誌</div> <div>東山の旧新道小 芸術活動に解放 新聞</div> <div>京北のバス, カラフルに 新聞</div> <div>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりー京都市のアートと社会をつなぐネットワークの中心に 雑誌</div> <div>[関西の議論]京都で「共同アトリエ」なぜ増える若手アーティストの「梁山泊」 新聞</div> <div>「まちなかひとくちメモ」コーナー ラジオ</div> <div>清き!泉 夢を支援 芸術, 交流活動に資金 新聞</div> <div>空き教室を芸術空間に テレビ</div> </div>	2013/2/9	京都新聞	HAPSスタジオの第二期利用者募集のお知らせ	株式会社 京都新聞COM



Higashiyama Artists Placement Service

アンケート調査結果

集計・分析 | 山田創平(京都精華大学)

HAPS(東山アーティスト・プレイスメント・サービス)の事業について、ニーズの把握、これまでの事業の効果評価を試みるべく実施したアンケート調査について、その結果を報告する。

アンケートは二種類実施された。ひとつは六原学区の住民の皆さんに対して実施した「各戸配布調査」であり、もうひとつは京都市内の芸術系大学に在学する皆さんに対して実施した「学生調査」である。両調査ともに配布数に対する回収数が少なく(回収率が低く)、今後その点をどのように改善するかは重要な課題である。しかしながらその限られたデータの中にもはっきりとした傾向や動向が見られる。今回の結果をパイロットデータ(予備調査データ)として、今後の調査に生かすことが望まれる。

アンケート実施期間と実施方法

各戸配布調査 | 2013年2月20日から2013年2月23日まで(質問紙を各戸配布の上、町内のHAPS事務所まで持参を求める方式。提出と引き換えに調査謝礼を渡した。)

大学調査 | 2013年1月15日から2013年2月11日まで(質問紙を各大学に配布の上、学内で取りまとめHAPS事務所まで郵送を求める方式。)

アンケート配布回収状況

各戸配布調査 | 配布数1200票・回収数 36票

大学調査 | 配布数580票・回収数 95票

「各戸配布調査」結果(単純集計)

高齢層の回答が多く(各戸配布調査1)、この傾向は現在の六原地区の状況にある程度

映したものと思われる。「HAPS」と「HAPSオフィス」についてはどちらも回答者の約半数の人々が認知しているが、オフィスの認知は団体の認知よりも低い。この結果は当然予想されるものだが、予想される結果が少ないデータ数の中にも表れていることから、今回の調査結果が六原学区とHAPSの関係をある程度捉えている可能性がある。それを考慮すると「京都に若手芸術家は必要だと思いますか」「六原学区に若手芸術家は必要だと思いますか」(各戸配布調査2)という問いにすべての回答者が「はい」と答えている事実には重みがある。

「大学調査」結果(単純集計)

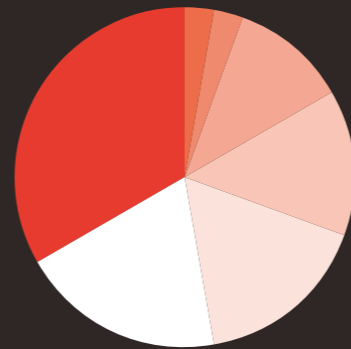
回答者の7割以上が京都府外(国内・国外)の出身者である(大学調査1)。そして約6割の回答者が「卒業後もアーティストとして活動したい」と考えている(大学調査2)。また「卒業後もアーティストとして活動したい」と考えている回答者の約45%が「京都を活動拠点としたい」と考えている回答者の約6割が「制作場所が必要だ」と考えている。そして注目すべき点は「制作場所が必要だ」と考えている回答者の75%以上が「地元(六原学区)の出身者である(大学調査1)」「京都府外(国内)の出身者のうち「京都で作品を発表したい」(大学調査6)」「卒業後もアーティストとして活動したい」と考える回答者はそれぞれ約6割にのぼるが、同じ「京都府外(国内)」の出身者のうち「京都を活動拠点としたい」と考える回答者は4割しかない(大学調査7)

点である。京都の美術系学生は今後も作品を作りたいと考えており、京都で発表したいと考えているが、とりわけ京都府外の学生は京都が活動拠点となり得るとは考えていない現状が浮かび上がる。「制作場所は居住地とは別に必要だ」と考える学生は出身地を問わず6割程度いる点を考えると、京都府外出身の学生が「京都が活動拠点とならない」と考える原因が「制作場所」にある可能性が示唆される。

今回の調査結果を総合すると、美術系学生は京都を拠点とし京都で作品を発表したいと考えており、地元の人々は京都や地元(六原学区)にアーティストが必要だと考えているにもかかわらず、京都府外出身の学生を中心として結果的に制作環境などを理由に京都を活動拠点とすることをあきらめている現状が浮かび上がる。それをつなぐ事業がHAPSだが、その事業認知は学生でまだ2割前後であり今後の展開が重要である。なお学生のHAPS認知は各大学で極端なばらつきがある。今後の広報戦略立案などに工夫を要するかもしれない。また今回の量的調査結果を自由記述内容と照合すると、ほぼ上記のデータ解釈を裏付けるものとなっていた。本調査の調査項目等のブラッシュアップを含め、自由記述の詳細な検討も次回調査までの課題としたい。

a b c d e f g

各戸配布調査1 | 記入者年齢



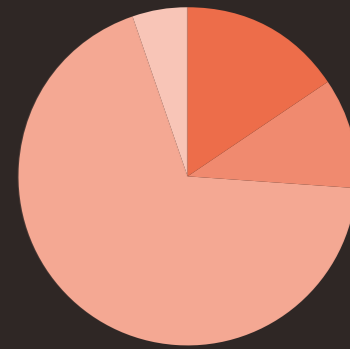
a. 20歳以下-1(2.8%) b. 20代-1(2.8%) c. 30代-4(11.1%)
d. 40代-5(13.9%) e. 50代-6(16.7%) f. 60代-7(19.4%)
g. 70代以上-12(33.3%)

各戸配布調査2 | 芸術家必要性(六原)



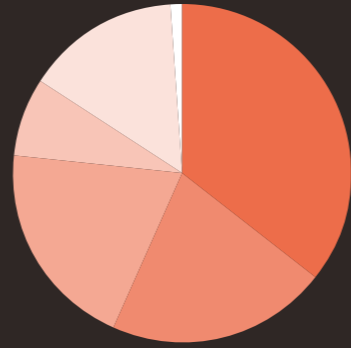
「六原学区に若手芸術家は必要だと思いますか」
a. はい-36(100%)
b. いいえ-0(0%)

大学調査1 | 記入者出身地



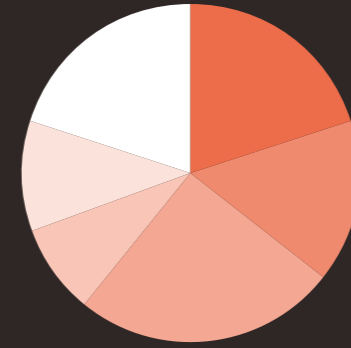
a. 京都市内-15(15.8%) b. 京都府内-10(10.5%)
c. 京都府以外国内-65(68.4%) d. 国外-5(5.3%)

大学調査2 | 卒業後意志



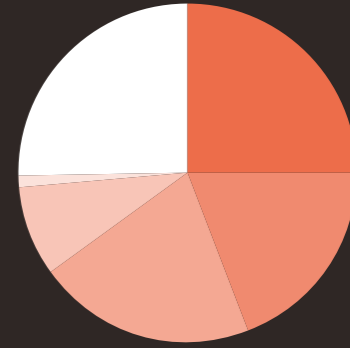
「卒業後はアーティストとして制作を継続しようと思いますか」
a. そう思う-34(35.8%) b. ややそう思う-20(21.1%)
c. どちらともいえない-19(20%) d. あまりそう思わない-7(7.4%)
e. そう思わない-14(14.7%) 無記入-1(1.1%)

大学調査3 | 京都拠点意志



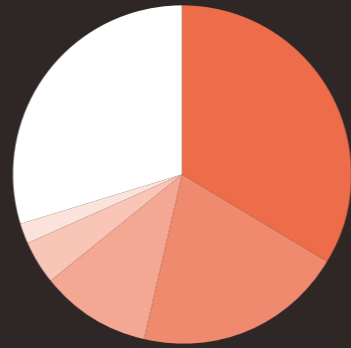
「卒業後も京都を拠点に制作を継続したいと思いますか」
a. そう思う-19(20%) b. ややそう思う-15(15.8%)
c. どちらともいえない-24(25.3%) d. あまりそう思わない-8(8.4%)
e. そう思わない-10(10.5%) 無記入-19(20%)

大学調査4 | 制作場所必要性



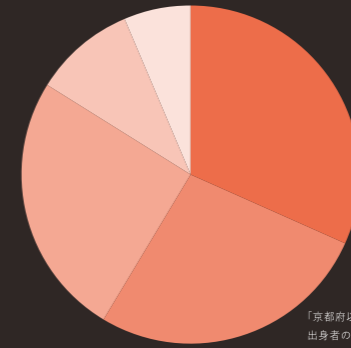
「制作場所は居住場所と別に必要だと思いますか」
a. そう思う-24(25.3%) b. ややそう思う-18(18.9%)
c. どちらともいえない-20(21.1%) d. あまりそう思わない-8(8.4%)
e. そう思わない-1(1.1%) 無記入-24(25.3%)

大学調査5 | 地元理解必要性



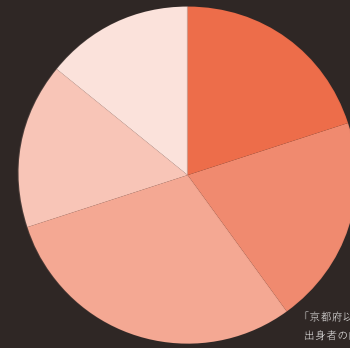
「制作をしていく場所で、地元の方の理解は必要だと思いますか」
a. そう思う-32(33.7%) b. ややそう思う-19(20%)
c. どちらともいえない-10(10.5%) d. あまりそう思わない-4(4.2%)
e. そう思わない-2(2.1%) 無記入-28(29.5%)

大学調査6 | 「出身地」×「京都作品発表意志」



「京都で作品の発表をしたいと思いますか」
a. そう思う-20(31.7%) b. ややそう思う-17(27%)
c. どちらともいえない-16(25.4%) d. あまりそう思わない-6(9.5%)
e. そう思わない-4(6.3%)

大学調査7 | 「出身地」×「京都拠点意志」



「卒業後も京都を拠点に制作を継続したいと思いますか」
a. そう思う-10(20%) b. ややそう思う-10(20%)
c. どちらともいえない-15(30%) d. あまりそう思わない-8(16%)
e. そう思わない-7(14%)

京都の技術伝授ワークショップ

ポイント | 京都の技術とは = 京町家のリノベーション技術

- ・京町家大工さんの技術
- ・京町家独特の改装方法
- ・アーティストならではの斬新なアイデア、技術

2012年7月29日[土]	不要な床や造作をとりこわす	講師 宮田幸治(解体職人)
2012年9月1日[土]	傾いた床を水平にする ①	講師 RAD
2012年9月8日[土]	傾いた床を水平にする ②	講師 RAD
2012年9月29日[土]	傾いた床を水平にする ③	講師 RAD
2012年10月14日[日]	棚階段をつくる	講師 山本昌男(家具職人)
2012年10月19日[金]	建物の補強 骨組み ①	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年10月20日[土]	建物の補強 骨組み ②	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年10月21日[日]	吹き抜けにロフトをつくる	講師 RAD
2012年10月22日[月]	建物の補強 壁 ①	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年10月23日[火]	建物の補強 壁 ②	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年10月24日[水]	塗装のための養生	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年10月27日[土]	古壁を塗装する	講師 RAD
2012年11月7日[水]	新しい棚をつくる	講師 RAD
2012年11月10日[土]	床の塗装をする	講師 RAD
2012年11月13日[火]	新しい建具枠をつくる ①	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年11月14日[水]	新しい建具枠をつくる ②	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年11月15日[木]	ギャラリーの壁をつくる ①	講師 市村恵介(アーティスト)
2012年11月17日[土]	壁を塗装する	講師 RAD
2012年12月8日[土]	ワークショップまつり(1) 土壁に和紙を貼る ① 外壁を波板で加工する ① ギャラリーの壁をつくる ②	講師 山本茂(大工棟梁), 市村恵介(アーティスト), RAD
2012年12月9日[日]	ワークショップまつり(2) 土壁に和紙を貼る ② 外壁を波板で加工する ② ギャラリーの壁をつくる ③	講師 山本茂(大工棟梁), 市村恵介(アーティスト), RAD
2013年1月7日[月]	古建具を間仕切りに再利用する	講師 RAD
2013年1月12日[土]	新しい床をつくる ①	講師 山本茂(大工棟梁)
2013年1月13日[日]	新しい床をつくる ②	講師 山本茂(大工棟梁)
2013年1月14日[月]	新しい床をつくる ③	講師 山本茂(大工棟梁)
2013年1月26日[土]	土壁を布海苔で固める	講師 RAD
2013年2月9日[土]	新しい塗装の方法を考える	講師 hyslom
2013年2月10日[日]	新しい建具枠をつくる ③	講師 山本茂(大工棟梁)
2013年2月23日[土]	古壁に漆喰を塗る	講師 RAD
2013年3月16日[土]	波板の庇をつくる	講師 RAD
2013年3月23日[土]	三和土(たたき)工法で土間をつくる	講師 萩野哲也(左官職人)
2013年3月25日[月]	建具をつくる	講師 RAD



HAPS LINE — 大学 — 行政・地域 — 美術館 | ギャラリー | アートスペース — HAPS オフィス — WEB

HAPS 事業実績

相談受付数	
1) アーティストから	92件
2) 支える人から	73件

インターネット	
1) HAPS ホームページ アクセス数	62,736
2) Facebook HAPS ページ フォロワー数	361 (前年度3月 24 △337)
2) Twitter フォロワー数	1,208 (前年度3月 120 △1,088)

プレス掲載数	
テレビ	1件
新聞	6件
ラジオ	1件
雑誌	4件
WEB	1件
合計	13件

視察対応数	
	26件

居住支援	
コーディネート実現数	7件

制作支援	
シェアスタジオ公開件数	5件
コーディネート実現数	2件



2012年度 実行委員メンバー (敬称略)

- 実行委員長
- 副実行委員長

遠藤水城	インディペンデントキュレーター
小崎哲哉	有限会社小崎哲哉事務所代表 Realtokyo & Realkyoto 発行人兼編集長
井上えり子	京都女子大学家政学部生活造形学科准教授
加須屋明子	京都市立芸術大学美術学部准教授
後藤結美子	京都市美術館学芸員
櫻井明弘	京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 計画推進担当課長
菅谷幸弘	六原自治連合会事務局長
高畑重勝	京都市東山区地域力推進室まちづくり推進課長
樋口貞幸	特定非営利活動法人アートNPOリンク事務局長
堀田真由美	京都新聞編集局 記者
松本泰幸	京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科教授
ヤノベケンジ	京都造形芸術大学美術工芸学科教授
山田創平	京都精華大学人文学部専任講師
山本麻友美	京都芸術センタープログラムディレクター

アドバイザー (2013年3月時点 順不同, 敬称略)

建畠哲	京都市立芸術大学学長
橋昇	京都造形芸術大学美術工芸学科長
島本沈	京都精華大学芸術学部教授
名和晃平	アーティスト
高嶺格	アーティスト
小山登美夫	小山登美夫ギャラリー代表
松尾恵	MATSUOMEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w代表
吉岡洋	京都市立芸術大学大学院文学研究科教授
潮江宏三	京都市美術館館長
富永茂樹	京都芸術センター館長
塚本稔	京都市副市長

事務局 | 芦立さやか、堀美智子

平成24年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

route map 2012 HAPS 事業報告書



発行日

2013年3月30日

企画・編集

HAPS実行委員会事務局

編集協力

早川七月

発行元

東山 アーティスト・プレイズメント・サービス実行委員会(HAPS)

デザイン

大西正一

協力

石川絵理, 市村恵介, 奥中章人, 加納俊輔, 川勝真一, 田中和人, 中村真生, 彦坂敏昭, 山田創平, 山田麗音

HAPS
Higashiyama Artists Placement Service

〒605-0841 京都市東山区大和大路通五条上る山崎町339番地
Yamazaki-cho, Yamatoohji gojo agaru, Higashiyama-ku, Kyoto 605-0841, JAPAN
TEL 075 525 7525 FAX 075 525 7522 E-MAIL info@haps-kyoto.com
http://haps-kyoto.com



文化庁
平成24年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



Higashiyama Artists Placement Service